

「令和5年度七里御浜防風林GG作戦」の実施

令和6年3月2日（土）に「七里御浜松林を守る協議会」により「令和5年度七里御浜防風林GG作戦」が、七里御浜国有林内の3会場（熊野市会場、御浜町会場及び紀宝町会場）で行われました。

GGとは、グリーン（松林を守り）グロー（育てる）という意味で、平成5年度から植樹や林内清掃に取り組み、地域住民参加形式での開催は今回で27回目となりました。

当日は、小春日よりのなか、熊野市、御浜町及び紀宝町の3会場に合わせて約150名の地域の方々が「マツクイムシ抵抗性クロマツ」を各会場80本、計240本植栽しました。

参加者皆様の「大きく育てて」という気持ちがこめられた苗木ですので、大切に育てて参ります。

※ 七里御浜松林を守る協議会

七里御浜松林の自然環境の整備等、公益的機能の維持向上を図るため、関係機関の連携を密にするとともに地域住民の協力も得て効果的かつ適切な対策を講じ、七里御浜松林の保全に資することを目的に、紀宝町、御浜町、熊野市と三重県（熊野農林事務所）、環境省（近畿地方環境事務所）、三重森林管理署で構成する協議会。

【七里御浜国有林の概要】

七里御浜国有林は、三重県南部の熊野市から御浜町、紀宝町までの熊野灘に面した延長約 25km の海岸防災林で、地域の生活や農作物を海からの強風や潮害、飛砂等から守るため保安林として重要な役割を果たしています。

また、「吉野熊野国立公園」にも指定され、その他「日本の渚百選」「日本の白砂青松百選」「21世紀に残したい日本の自然百選」や、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のバッファ地域等となっており、林内や浜辺を散策するなど様々な方々の健康増進や憩いの場としても親しまれています。



これらのこともあり、七里御浜国有林はレクリエーションの森に設定され、その中でも特に美観に優れ、地域の方々がこの森を守るため協議会を設置していたり、ボランティア等での積極的な活動もあることから、「日本美しの森お薦め国有林」(全国で 93 箇所)に選ばれています。

◎ 日本美しの森 お薦め国有林 (林野庁 HP)

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/

○ 近畿中国森林管理局内のレクリエーションの森 (近畿中国森林管理局 HP)

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori_zukuri/recreation/index.html

● 「日本美しの森 お薦め国有林」近畿中国森林管理局管内 (20 箇所)

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori_zukuri/recreation/osusume.html

【熊野市会場】



【御浜町会場】



【紀宝町会場】

